

# 双葉東小学校 学校関係者評価書

令和8年2月24日（火）  
（双葉東小学校）学校関係者評価委員会作成

## 第1回 学校関係者評価委員会（第3回学校運営協議会）

実施日：令和8年2月20日（金） 午後3時～

会 場：双葉東小学校 家庭科室

参加者：学校運営協議会委員 校長 教頭 主幹教諭 事務幹

### I 学校側から提案された内容

- ・学校経営方針
- ・学校評価（教職員，保護者，児童アンケート）に基づく自己評価書

### II 協議された主な内容

各項目における達成状況と改善策

- 1 全体評価について
- 2 学校教育目標・学校経営について
- 3 学校運営について
- 4 学習指導について
- 5 生徒指導について
- 6 地域との連携について
- 7 学校の特色について
- 8 創甲斐教育について
- 9 まとめについて

## <学校関係者評価書>

### I 全体評価

- 教職員，児童，保護者の3者の評価は総じて肯定的評価が高く，学校の教育活動について，教職員の教育活動，児童の学習や生活への指導が積極的に行われ，それに対する保護者の信頼が分かる結果となっている。
- 来校時に確認できる校内の様子や児童の態度，我が子が家庭で語る学校の様子から，全体として児童が楽しく学校に通っていること，先生が誰ひとり取り残さないという信念を持って児童への教育に当たられていることが分かり，学校が楽しい，授業が楽しいというアンケート結果も実感として理解できる。
- 保護者に「わからない」と回答する割合が多いものの，昨年度後半より学校だよりの地域回覧など地域への発信をしてくれているので学校の事がよくわかる。学校は児童一人一人の成長のために，様々な取組をしている。そうした学校の姿を周知し正しく理解してもらい，学校教育への支援に繋げるためにも，保護者・地域への情報発信も継続してもらいたい。

## Ⅱ 特 徴

### ○学校運営について

- ・ ICT 化が進み便利になる一方で、子どもや教師が互いの顔を見ることがなくなっているのではないかと心配していた。学校の様子を見てそのようなことはないことが確認できてよかった。いつも相手を大事にする姿勢を忘れないでほしい。
- ・ みどりの時間に取り組んでいる「ちょっといい話」は双葉東小学校の伝統であり、人と人が直接関わる大切な機会。これが学校への高評価（正しい指導への信頼）に繋がっている。先生自身の価値観や考えを子供に伝えられる、信頼・相談できる存在であってほしい。
- ・ 運動会などで、課題を抱える児童をさりげなく支援し、誰一人取り残さない姿勢に感動した。これを継続してほしい。

### ○PTA・保護者の役割と意識

- ・ PTA 役員をすることで学校との距離が縮まり、先生の新たな一面（プラスの面）を知るきっかけになる。「自分の子どものことだから進んでやろう」という姿勢が大事。保護者自身が「自分の子どもの学校だ」と感じる必要がある。
- ・ 先生と保護者のコミュニケーションの場がもっと増えることは賛成。初めての会話が子どものマイナスのことを話すのでは悲しい。

### ○地域との連携

- ・ 登下校や近所の関わりだけでなく、行事を通じて「東小の子どもたち」を知ることが、地域の民生委員や住民にとって重要。
- ・ 高齢者にとって、学校行事や地域活動は子どもと接する貴重な機会。
- ・ 地域活動に入らない保護者も増えており、関係性をどう作るのが課題。

## Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

### ○親子奉仕作業の検討

現在は6年生のみだが、親子で一緒に作業（窓ふき・草取り等）をする機会を広げる。「親子で過ごせる時間は短い」ため、共同作業は非常に貴重な機会となる。

### ○学校側の工夫

保護者が学校に来る「口実（そのために作った仕事など）」を学校側が用意し、親しくなるきっかけを作る。

### ○学年 PTA 活動の再検討

コロナでなくなった役員制度を、昔の形にこだわらず「学校に関われる機会」として再設計する。

記載責任者（双葉東小学校 学校関係者評価委員）